【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2002-165062(P2002-165062A)
【公開日】平成14年6月7日(2002.6.7)
【出願番号】特願2001-323082(P2001-323082)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/028
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/028　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月21日(2004.10.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の露光時間の間に複数の光センサ要素を露光する段階と、
　複数の光センサ要素から生じた電荷を前記複数の光センサ要素から電荷シフト・レジスタに転送する段階とを含み、
　前記電荷シフト・レジスタ内の少なくともいくつかの段が、前記第１の露光時間の間に複数の光センサ要素から生じた電荷を蓄積する走査方法。
【請求項２】
さらに、第２の露光時間の間に前記光センサ要素を露光する段階と、
　前記光センサ要素から前記電荷シフト・レジスタに電荷を転送する段階とを含み、
　前記電荷シフト・レジスタ内で、前記第１の露光時間の間に生じる電荷と前記第２の露光時間の間に生じる電荷が交互に配置される請求項１に記載の方法。
【請求項３】
第１の露光時間の間に第１および第２の光センサ要素を露光する段階と、
　前記第１の光センサ要素から電荷シフト・レジスタの第１の段に第１の電荷を転送する段階と、
　前記電荷シフト・レジスタの前記第１の段から前記電荷シフト・レジスタの第２の段に前記電荷をシフトする段階と、
　前記第２の光センサ要素から、前記第１の露光時間の間に生じる第２の電荷を前記電荷シフト・レジスタの前記第２の段に転送し、それにより前記電荷シフト・レジスタの前記第２の段に、前記第１および第２の電荷を蓄積する段階と、を含む走査方法。
【請求項４】
第２の露光時間の間に前記第１の光センサ要素を露光して、第３の電荷を得る段階と、
　前記第３の電荷を前記第１の光センサ要素から前記電荷シフト・レジスタの前記第１の段に転送し、それにより前記第３の電荷を、前記電荷シフト・レジスタ内の前記蓄積された第１および第２の電荷と交互に配置する段階と、をさらに含む請求項３に記載の方法。